

2013年3月17日

**《南豆製氷・ありがとう募金》を集めています
所有者に感謝を伝え、購入のための猶予期間をお願いします**

下田の旧南豆製氷所(なんすせいひょう)は、2013年に建造90周年を迎えました。

南豆製氷は大正時代から下田の水産業を支え続けた希少な近代化遺産であり、港町の風景の中であって人々の営みを見守ってきた大切な“まち遺産”です。市内唯一の国登録有形文化財で、伊豆に残る最大の石造建築として、半島の成り立ちに由来する石造の伝統を今に伝える伊豆半島ジオパークの“ジオスポット”にも該当します。

廃業した2004年に市民による保存運動が起こり、石井直樹前市長の保存への熱意に動かされた現所有者が2006年に期限付きで購入しましたが、一時は保存・活用に前向きだった市が2008年に購入を断念したため所有者も処遇に苦慮することとなり、建物は放置され劣化の一途をたどり、今は解体のゴーサインを待つばかりです。

これまで南豆製氷に関わるコストやリスクを負担されてきた所有者に感謝の気持ちを伝える機会がなかったという、ある市民の提案を受けて、南豆製氷応援団は建物を残してこられた所有者に感謝する《南豆製氷・ありがとう募金》を実施しています。

募金の目標は、所有者が負担している固定資産税(約60万円※注)の金額です。南豆製氷応援団も皆様からの長年の寄付などで集めた留保金から10万円を拠出し、3月16日現在11万3,120円集まりました。南豆製氷前の街頭募金などを通じて3月31日を期限に募金を呼びかけています。

皆様からの1,000筆を超える署名もむなしく、下田市は南豆製氷の保存や活用を再検討する余裕はないとのこと。ただ、解体されてしまえば再建はできません。今回の募金の目的は、これまで南豆製氷を残してくださった所有者に感謝を伝えることですが、目標の金額が集まった場合は有志による購入のための一定期間の猶予を設けていただけるよう、所有者にお願いする予定です。

※注：固定資産税の金額について

現所有者は2006年に土地建物を購入して下田市に管理を委託しました。その際に、市の仲介を経て南豆製氷応援団が建物を管理・運営することを所有者に認めていただく対価として支払った固定資産税が約60万円でした(その節には下田TMO、東京のNPO地域再創生プログラム、南豆製氷応援団が分担して拠出しました)。

お問い合わせ：南豆製氷応援団・事務局(はなぶさ)

090-4847-9646/nanzu@center.email.ne.jp

南豆製氷ブログ <http://nanzu.exblog.jp/>